2025年度（令和7年）　坂本ホーム　地域連携推進会議　会議記録

日時：2026年1月28日（水）　14：45～16：10　（その後ホーム見学）

場所：坂本ホーム　食堂

参加者　坂本学区民生委員児童委員　　田辺氏、ゆめのわ（後見人）奥田氏
　　利用者代表

主催者側　常務理事　村上、所長　柴田　、副主任　川島

1. 会議、議題

所長から挨拶

① 地域連携会議について

生活の場に外部の目が入ることで、サービスの質の保障のために行うことが義務付けられた。

構成員の方には任期として2年程度続けていただきたい。

② 自己紹介

③ 法人・ホームの運営状況

今回は、おおつ福祉会、グループホームのことを知っていただく。

別紙要覧をみながら法人の各事業について紹介。主に知的障害の利用者である。

利用者200名　常勤職員120名程度　他にアルバイト

法人として４５年

④ グループホームの紹介（別紙資料参照）

現在5ホーム、今年度併設するショートステイむくの木の老朽化にともなう休所にともない粟津ホームを閉所する。

知的障害が主だが、精神障害、身体障害の方も入居されている。

各ホームの紹介、ホームの利用者情報の共有。

民家を借りている。老朽化が進んでいるため計画的に修繕しながら運営している。

民家のため完全なバリアフリーではない。

区分4が8割以上になるとスプリンクラーの設置義務になる。現在1か所設置している。

支援体制　年間365日開所している。

利用者は、日中は事業所（障害者施設、介護施設）に通っている。一般就労している人や法人外の日中事業所に通所している人もいる。

利用料、サービス、ホームでの生活（通院、食事、金銭管理など）について説明。

利用者の共同生活のルール（別紙）を基本としながらホーム利用者の話し合いの中でホームによって多少違いはある。

地域との交流は現在行われていない。自治会も今年度から解散したと聞いている。（共同での避難訓練の実施などもやっていきたい）

坂本学区民生児童委員田辺氏より：町内の自治会がなくても近隣の自治会へ入ってもらうことはできると思う。そこから情報をもらえるようにしてはどうでしょうかとアドバイス

⑤ ホームの事業計画、課題（災害や非常時に備えての協力体制や近隣）、今後の見通し

災害時　初動対応の行動指針（別紙）に沿って対応、備蓄品を備えていることを説明。毎年見直し不足している備蓄品などは改善にむけている。

年2回の避難訓練（火災と地震）を実施している。

事故、ヒヤリハット、苦情について説明。一人現場のためヒヤリハットの段階で気づかず事故になってしまう傾向がある。

⑥ 利用者から（質問形式で）

ホームでの楽しみや過ごし方を報告。（食事はおいしい、ヨシケイのメニュー、休日はホームで過ごしたり、ヘルプにいっているなど）

⑦ 利用者への質問

なし　見学時にあればきいていく

⑧ ホームへの意見、質問

奥田氏：性別で分けているホームが多い中、おおつ福祉会では共同なのは、わざわざ分けてないのかどうでしょうか。（利用者によっては一緒でもとても仲良くされている所もあるので完全にわけたほうがよいということではなく）

→村上・柴田：以前から男女混合のホームであった。自立支援ホームは若い利用者が多く男女分けていた。利用者は男性利用者が多いが、支援者は女性が多く分けると支援体制が組めないことも要因。通所先の送迎範囲や、本人の身体状況的に平屋のホームでないと住めない方もおり、完全に分けられていない。今後の課題だと思っている。

⑨最後にご意見

奥田：知らないことも沢山あった。民間の企業が GH に参入しているホームもあるが、ここは丁寧に関わってもらっている。病院のことも他のホームでは後見人と家族が相談して対応しなければいけないようなところもあるが、法人で通院などの段取りもしてもらえる。本当にありがたいと思っている。

田辺氏：依頼があればまた関わりをもって行けると思うので何かあれば言ってください。

2. グループホーム見学（坂本学区民生児童委員田辺氏、後見人奥田氏、常務理事村上、所長柴田、副主任川島）

坂本ホーム、つむぎの家を見学　16:10～16:45

別紙見学記録表をご記入いただき、お礼の品（法人日中事業所自主製品）をお渡しし終了した

次回見学日程：２０２６／２／２６（木）１６：３０～下阪本さつきホーム

その後苗鹿荘まで移動し見学予定

2025年度（R7年度）坂本ホーム地域連携推進委員　ホーム見学報告

報告：柴田

２０２６／１／２８（水）に坂本ホーム、つむぎの家の見学を推進委員の田辺氏、奥田氏に見学してもらった。残りのホームの見学を２０２６／２／２６（木）に実施した。

（当初地域連携推進委員田辺氏、奥田氏両者に下阪本さつきホームと苗鹿荘の見学を予定していたが、田辺氏欠席連絡が入り、奥田氏のみの見学となった）

※粟津ホームはショートステイむくの木休所にともない２０２６年３月末で閉所となる。利用者は閉所後の生活の場へ移行し、退居となり入居者がいないため見学は実施できなかった。

１６：３０～１６：４５下阪本さつきホーム見学

同行者：地域連携推進委員奥田氏、坂本ホーム柴田

ホーム内を案内し、利用者の様子などみてもらった。

（別紙推進委員の見学記録表添付）

ホーム内を案内。民家を使用しており、平屋である。大きな部屋を区切って居室にしているので部屋によって収納がある部屋ない部屋がある。利用者２人に了解を得て居室内をみてもらう。奥田氏から「広いですね。これだけスペースがあればいいですね。」と言われていた。土砂災害警戒区域ではないことを伝えた。

１７：００～１７：２０苗鹿荘見学

同行者：地域連携推進委員奥田氏、坂本ホーム柴田

ホーム内を案内し、利用者の様子などみてもらった。

（別紙推進委員の見学記録表添付）

ホーム内を案内する。居室によって和室、洋室がある。平屋で土砂災害警戒区域にあたることを説明。食事は苗鹿荘もヨシケイですかと質問がありヨシケイより材料が届き、それを調理していると説明。ヨシケイであってもレトルト湯煎タイプではなく調理されるのは手作り感があるのでよいと思いますと言われていた。お風呂、トイレは古い民家タイプのため壁（手すり）が遠く、動線も遠くなり使いづらさがあると説明し、利用者によっては入浴介助度が高い方は日中事業所で入浴をしてもらっている人もいると説明した。

利用者３人、ご本人に許可得て居室を見てもらった。

2025年度（R7年度）坂本ホーム地域連携推進委員　ホーム見学報告

報告：柴田

２０２６／１／２６（水）に坂本ホーム、つむぎの家の見学を推進委員の田辺氏、奥田氏に見学してもらった。残りのホームの見学を２０２６／２／２６（木）に実施した。
（当初推進委員田辺氏、奥田氏両者に下阪本さつきホームと苗鹿荘の見学を予定していたが、田辺氏欠席連絡が入り、奥田氏のみの見学となった）
※粟津ホームはショートステイむくの木休所にともない２０２６年３月末で閉所となる。利用者が２／２７で退居となり利用者がいたため見学は実施できなかった。

１６：３０～１６：４５下阪本さつきホーム見学
同行者：推進委員奥田氏、坂本ホーム柴田
ホーム内を案内し、利用者の様子などみてもらった。
（別紙推進委員の見学記録表添付）
ホーム内を案内。民家を使用しており、平屋である。大きな部屋を区切って居室にしているので部屋によって収納があるところない部屋もある。利用者２人に声をかけ居室内をみてもらう。奥田氏から「広いですね。これだけスペースがあればいいですね。」と言われていた。土砂災害警戒区域ではないことを伝えた。

１７：００～１７：２０苗鹿荘見学
同行者：推進委員奥田氏、坂本ホーム柴田
ホーム内を案内し、利用者の様子などみてもらった。
（別紙推進委員の見学記録表添付）
ホーム内を案内する。居室によって和室、洋室がある。平屋で土砂災害警戒区域にあたることを説明。食事は苗鹿荘もヨシケイですかと質問がありヨシケイで材料がきて、それを調理していと説明。ヨシケイであってもレトルト湯煎タイプではなく調理されるのは手作り感があるのでよいと思いますと言われていた。お風呂、トイレは古い民家タイプのためどうしても手すりが遠く、動線も遠くなり使いづらさがあると説明し、利用者によっては入浴介助度が高い方は日中事業所で入浴をしてもらっている人もいると説明した。
利用者３人、ご本人に許可をとり居室を見てもらった。